

剣道学科試験問題（2014年6月～2014年8月開催試験会場）

1. 初段

- (1) 「稽古の心構え」について述べなさい。
- (2) 「切り返しの方法」を説明しなさい。
- (3) 相手と向かい合った時、相手のどこをみたらいいのか述べなさい。
- (4) 「気剣体一致」について説明しなさい。
- (5) 「残心」について説明しなさい。

2. 二・三段

- (1) 「稽古で心掛けねばならないこと」とはどのような事か述べなさい。
- (2) 「三殺法」について説明しなさい。
- (3) 「打ち込み稽古と掛り稽古の違い」を述べなさい。
- (4) 日本剣道形で使われている「五つの構え」について書きなさい。
- (5) 「有効打突の条件」について説明しなさい。

3. 四・五段

- (1) 「指導者としての心構え」について述べなさい。
- (2) 「残心の重要性」について述べなさい。
- (3) 「払い技」について説明し、「指導上の留意点」を述べなさい。
- (4) 「四戒」について説明しなさい。
- (5) 「剣道試合・審判規則第1条（本規則の目的）」を書きなさい。

剣道学科試験問題（2014年6月～2014年8月開催試験会場）

初段 【 回 答 例 】

- (1) 「稽古の心構え」について述べなさい。

大きな目標や一日の課題を持って取り組むようにする。また教えられたことを素直な心で受け止め、礼儀作法を重んじ、常に旺盛な気力をもって、積極的かつ真剣に取り組むことが大切である。

稽古の後は反省をして、工夫・研究を怠らないようにする。

- (2) 「切り返しの方法」を説明しなさい。

一足一刀の間合いから最初に正面を打ち、直ちに前進しながら左右面を4本（左—右—左—右）、後退しながら5本（左—右—左—右—左）打ち、その後、後退しながら間合いをとって一足一刀の間合いから正面を打つ。これを1回として通常は2回行う。

- (3) 相手と向かい合った時、相手のどこをみたらいいのか述べなさい。

剣道には、目付という言葉があって、自分の目の付け所は、基本的には相手の目を見ながら身体全体に気を配るようにして、相手の動向を予知したり打突の機会をとらえるようにする。

- (4) 「気剣体一致」について説明しなさい。

気とは気力、剣とは竹刀操作、体とは体さばきと体勢のことである。これらが打突時に、一体となって働くことで有効打突になる。

- (5) 「残心」について説明しなさい。

残心とは、打突した後でも油断することなく、相手の反撃に対応できる身構えと気構えである。

剣道学科試験問題（2014年6月～2014年8月開催試験会場）

二・三段 【 回 答 例 】

(1) 「稽古で心掛けねばならないこと」とはどのような事か述べなさい。

1. 竹刀の点検、準備運動、整理運動など安全面に留意する。
2. 大きな目標や研究心を持って取り組む。
3. 礼儀作法を重んじる。
4. 常に旺盛な気力で精魂を込めて稽古する。
5. 基本に忠実に稽古する。

(2) 「三殺法」について説明しなさい。

相手を制するための手だてとして、相手の剣、技、気の三つを封ずる。

1. 剣を殺す・・・相手の剣を押さえ、払うなどして剣の動きを封ずる。
2. 技を殺す・・・先手先手と攻め、相手に技をしかける余裕を与えない。
3. 気を殺す・・・気力で相手を圧倒し、相手が攻撃しようとする機先を制する。

(3) 「打ち込み稽古と掛り稽古の違い」を述べなさい。

打ち込み稽古は、打ち込む側が元立ちの与える打突部位をとらえて打ち込んでいく中で、打突の基本的な技術を体得する稽古法。

掛り稽古は、掛かる側が積極的に相手を攻め崩して打突の機会をつくり、短時間のうちに気力、体力の限りを尽くして打ち込んでいく稽古法。

(4) 日本剣道形で使われている「五つの構え」について書きなさい。

1. 中段の構え・・・すべての構えの基礎になる構えで攻防に最も適した構えである。
2. 上段の構え・・・太刀を頭上に振りかぶり、相手の気を圧して、捨て身で攻撃する性格をもつ構えである。

3. 下段の構え・・・剣先をさげて自分の身を守りながら、相手の変化に応じて攻撃に転ずる構えである。
4. 八相の構え・・・太刀を大きく右肩にとり、相手の動作を監視しながら、相手の出方によって攻撃にでる構えである。
5. 脇構え・・・・半身になりながら太刀を右脇にとり、相手の動作を監視しながら、相手の出方に応じて臨機応変に攻撃に転ずる構えである。

(5)「有効打突の条件」について説明しなさい。

有効打突は、充実した氣勢と適正な姿勢で、打突部位を刃筋正しく打突し、残心のあるものである。